

平成 27 年仕事始め式 学長挨拶

明けましておめでとうございます。

この 3 年間、島根大学の最も重要な存在意義である「地域の活性化に貢献する開かれた大学」を実現すべく改革に取り組んで参りましたが、皆様のご尽力により、ようやく形が見え始め、外部からの評価が高まったことに、まずもって感謝の意を表したいと思います。

しかしながら現在、第 3 期中期計画策定へ向けて国から改革推進期間として大変厳しい改革を迫られており、まさに今年が 7 年後の第 3 期中期計画終了後に島根大学が生き残れるかどうかをかけた勝負の年になると思います。

昨年度に知の拠点事業に採択され、比較的順調に計画を進めていますが、今後 3 年でその出口を具体化する計画を進めなくてはなりません。

本当に社会が必要とする教育・研究のイノベーションは身近な地域社会のニーズ、シーズを掘り起こすことと、学部を越えた連携から生まれます。このために島根大学では昨年までに 14 の戦略的プロジェクトセンターを立ち上げ学部を越えた研究・教育を開始し、成果が上がり始めています。

さらに昨年 12 月には 10 億円規模の島根大学発のベンチャー起業支援ファンドを山陰合同銀行のご厚意で創設して頂きましたが、この資金によるベンチャー第 1 号を早く立ち上げるべく専門的な審査を行う地方再生機構とも打ち合わせを開始しています。

また、グローバルな人材養成を目指して、英語高度化コースを開設すると共に、海外の交流校を 3 年間で 1.5 倍に増やし、夏期セミナーの新設やタイでの医学生の海外臨床研修など実質的な交流も増やしてきました。この成果もあり本学からの留学もまだ少ないですが、2 年前に比して 2.5 倍に増加しました。

さらにアジアからの留学生の県内企業への就職を支援し、海外進出の幹部候補生として育てるための留学生奨学基金も企業から寄附を頂いて立ち上げ、すでに海外で募集を開始しています。

また 4 月からは島根大学で初めての实用中国語コースも立ち上げ、従来殆どいなかった本学から中国への留学生も増やす予定です。

島根大学からの発信として行って来た「古代出雲文化フォーラム」も島根大学同窓会のご支援のおかげで、東京と広島で成功裏に開催することが出来ました。島根大学が温故知新のテーマ研究を進めていることを知ったと好評でした。

今年の3月には「古代出雲文化フォーラム」を大阪で開催予定です。

このフォーラムは情報発信だけでなく、島根大学同窓会の絆を強めるプロジェクトでもあり、このおかげで関東では生物資源科学部同窓会支部、九州でも法文学部を中心とした同窓会支部が新たに立ち上がりました。

私は今年度をもって退任することになりましたが、すでに12月から服部次期学長候補と部局長と共に来年度計画、第3期中期計画審議を学長戦略会議で一緒に行い、大学運営が滞らないよう移行の準備を進めています。

島根大学の良識ある教職員が、長岡藩の「米百俵の精神」で、目先の既得権益だけにとらわれず、一つになって進めば、厳しい第3期中期計画の中でも必ずや道は開けると信じています。

今年が島根大学にとってよい年になることを祈念して新年の挨拶とさせていただきます。